

大エジプト博物館建設計画【エジプト】

施策所管局課 国別開発協力第三課
評価年月日 平成 29 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	エジプト
(2) 案件名	大エジプト博物館建設計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>ギザ地区において, 博物館を新規に建設することにより, 歴史的文化遺産の保存修復・展示・研究・教育等の諸機能の強化を図り, もってエジプトの歴史的文化遺産の保全・活用及びそれを通じた同国の観光産業の発展と雇用機会の創出, ひいては経済社会発展に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事 ・ 資機材調達 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日: 平成 18 年 4 月 28 日 イ 供与限度額: 348.38 億円 ウ 金利: 1.5% エ 償還(据置)期間: 30(10)年 オ 調達条件: 一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初, 現行のエジプト考古学博物館の施設老朽化および収容力不足は著しく, 今後も増加が見込まれる観光客に対応する新設博物館の建設は必要であった。現在においても, 引き続き同国における観光セクターは経済波及効果や雇用創出効果が大きいことから, 歴史的文化遺産の保全・活用の強化及びそれを活用した観光産業の発展のための本事業に関する社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>本計画である第一期(2006年4月E/N締結, 348億3,800万円)の円借款を供与後, 詳細設計に伴う事業費の増加及び2012年以後の治安悪化等による物価・人件費上昇により総事業費が約700億円から約1,400億円に増大したことを受け, 第二期(2016年10月E/N締結, 494億900万円)の借款を追加供与した。政変の影響で調達の遅延や工事中断等による遅れが発生したが, 現在事業は順調に進められている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず, 事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており, 事業進捗を妨げていた要因は解決していることから, 引き続き支援を継続していく。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料

